

製造業の復旧・復興するための手順

復興対応

レベル	被害が「甚大」程度の場合・・・戦略3： 既存の顧客から受注を受け代替品・サービスを提供する 新たなビジネスを立ち上げる。
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建屋・設備に大きな被害があり、入れない。建て替えが必要レベル ・ ライフライン・ネットワークの復旧にめどが立っていない(相当期間要する)。 ・ 代替場所・協力先の被害が甚大で、代替施設・協力先で継続できない。
チェック	復興手順
	1 - 再建費・必要なコストを盛り込んだ収支計画書を作成する。(重要)
	2 - 再建費・必要コストを盛り込んだ収支計画書では、採算が合わないことから、 既存製造ラインの復旧を断念する。(重要)
	3 - 指定された担当者は、ライフラインの正常な地域の代替場所・受け入れ協力先へ移動する。
	4 - ライフラインの正常な地域の代替場所・受け入れ協力先で、最優先業務(代表窓口・連絡)の再開に向けて、必要な資源を準備・調達する。
	5 - 当社の代替品・サービスを提供できる受け入れ先(同業他社)を検討し、対応可能か確認する。
	6 - 受け入れ先が見つければ、取引先に対して代替品・サービスの受け入れ先の了解を得る。
	7 - 仕入先、納入業者等の関係者に状況を説明する。
	8 - 受注業務を再開する。
	9 - 受け入れ先に発注し、商社機能として活動する。
	10 - 新たなビジネスを検討し事業計画を作成する。
	11 - 金融機関及び災害特別融資の相談し、調達金額を確定する。
	12 - 新規事業を活動する。
	13 - 採算分岐点を整理し、最終的な経営判断を実施する。
	必要なコスト 約 円